令和７年10月

みんなで楽しく過ごせる地域づくりを！
～地域の農地を守る活動に女性も活躍～

【類　　型】 水稲 ＋ 作業受託

【組 織 名】農事組合法人　田野川甲営農組合
（平成28年１月27日設立）
【所　　在】高知県四万十市田野川甲
【農業地域類型】中山間農業地域
【構成戸数・人数】　６戸・12人
【従事者数】オペレーター　６人
【経営規模（令和６年度実績）】
水稲　22.1ha（R６）
（主食用米 14ha、飼料用米 ８ha
その他　　0.15ha）

（農）田野川甲営農組合設立総会

作業受託（畦塗0.1ha、耕耘0.3ha、田植１ha
収穫0.1ha、乾燥0.95ha、籾摺542袋、育苗457枚）

設立の経緯

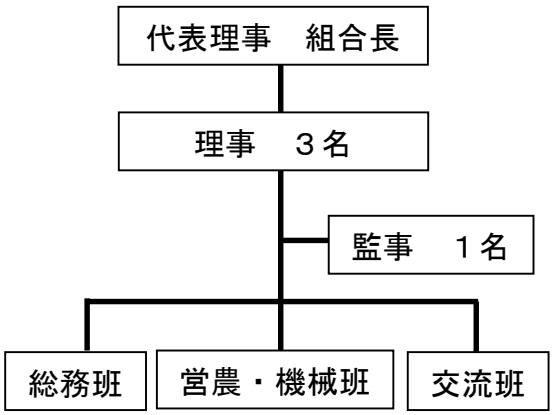
○農家の高齢化や後継者不足、農地維持と稲作機械の負担軽減等の課題解決のため、勉強会や視察研修を行い、平成24年３月に６名の兼業農家で「田野川甲営農組合」を設立。設立後は県の事業を活用し、施設や機械を計画的に導入・活用し、規模拡大と経営発展を進めてきた。
○平成26年末からは組織のステップアップを図るため、法人化に向けた協議を始め、平成28年１月に（農）田野川甲営農組合を設立した。

取組の特徴・効果

○水稲中心の兼業農家地帯（専業農家はいない）。
○設立当初から協業経営を開始。地区の９割以上を法人が管理している。水路の管理に地権者も参加している。
○水稲栽培による効率的な土地利用と、機械化作業体系の構築を目指している。
○事業を活用し、施設・機械を計画的に導入（【機械・施設一覧】参照）。
○経営所得安定対策等への取り組みで、水稲の約４割は飼料用米を栽培。
○四万十市が推進するブランド米「四万十農法米」に取り組んでいる。
○鳥獣害対策で、約20kmに及ぶ金網柵を設置。R4は電柵も設置（6. 3km）。
○組合員全戸が夫婦で組合員になり、女性も参画している。

【具体的な取組内容】

〇組織体制



法人設立検討会

地域貢献の餅投げ

定期総会

鹿の捕獲檻の設置

【機械・施設一覧（令和６年時点）】

単位：円

施設・機械名（規格・型番）	年度	総事業費	組合負担額	備考
農機具格納庫120㎡(15m×８m)、籾摺機（４インチ）、計量選別機、ﾘﾌﾄｱｯﾌﾟ装置	H24	9,250,000	2,802,000	集落営農・拠点ビジネス支援事業
乾燥機（40石、30石、27石）、コンバイン（4条）、グレンタンク、デバイダー	H25	9,641,000	1,929,000	
田植機（6条）、トラクター一式（37ps）、畦塗機、フォークリフト（1.5t）	H26	10,347,480	2,073,480	
育苗用ハウス（81㎡）	H27	1,190,160	833,000	
脱芒選別機、ウィングモア、育苗箱洗浄機	H27	410,700	410,700	自己資金
育苗器、ウィングモア	H29	430,000	430,000	
ブロードキャスター、籾摺り機一式、送塵機	H30	1,168,800	1,168,800	
コンバイン（５条）	R２	7,516,300	7,516,300	
倉庫（75㎡）	R２	5,665,000	2,082,000	県事業
色彩選別機（5インチ）、ﾌﾚｺﾝﾊﾞｯｸ計量器	R３	4,431,064	1,552,064	県事業
オフセットモア、催芽機、ウィングモア	R４	1,312,000	1,312,000	自己資金
３．７トラック	R５	2,550,000	2,550,000	
トラクター（52ps）		6,000,500	2,400,500	県事業
倉庫（64㎡）、ウィングモア、サイバーハロー	R６	3,576,900	3,576,900	自己資金
合計		63,489,904	30,636,744	

【課題・今後の取組】

〇法人の経営計画達成に向けて、農地を集積しながら規模拡大を行う。
〇田野川地域の担い手として、地域貢献活動を積極的に進める。
〇次世代の後継者確保のために、子供世代への声かけを継続する。
〇地域の活性化と後継者の育成に繋げる。